

生徒指導通信

新潟県立三条東高等学校

生徒指導部

令和2年9月30日 No.6

○盗難注意！

今月、本校の教室内で体育授業中に複数件の盗難がありました。ここ数年このような被害はなく、私たちの意識もやや緩んでいた状況があります。改めてお互いが安心・安全で学校生活を送れるよう、以下の事柄を中心に行動しましょう。



- ①学校へは高額なお金、不要な物（特に高価な物）は持ってこない。
- ②部活動費や模擬試験受験料等、提出すべきお金（特に高額な場合）を持ってきた場合は、朝のうちに職員へ提出するか、預かってもらい手元に置かないようにする。
- ③体育授業等、更衣を伴う移動教室では貴重品係が活動場所へ貴重品バッグを持参し、預ける物がある生徒はその活動場所で貴重品バッグに預け、活動終了後にその活動場所で確実に受け取る。

※今月の盗難に関しては現在、三条署へ学校から被害届を提出し、対応中です。

○衣替え完了！？

明日から10月、めっきり涼しく過ごしやすい時期になりました。衣替えも現在移行期間ですが、夏服から冬服へのチェンジは細かいところまで大丈夫でしょうか？上着だけ上から着るのではないことは周知の通りです。改めて注意点を記載しますので、確認して下さい。制服を含め身だしなみについて修正が必要な生徒はすみやかに直すこと。保護者の方も御一緒に御確認ください。



- ①校章バッジを付ける（男子は左襟、女子は左胸ポケットの上）

※校内で過ごす際、気温が高く上着を脱ぐ場合はYシャツ・ブラウスにバッジがついていること。

- ②上着の下にはYシャツ・ブラウスを着用する。
- ③セーター・カーディガン等の着用はしない（着用可能な時期：11月～3月）
- ④男子のズボンはウエストの位置を正しく、下げて着用しない。（腰骨の上でベルトを締める）
・女子のスカートはウエスト部分で折って、スカート丈を短くしない（目安：裾が膝頭にかかる）
- ⑤女子のブラウスは第一ボタンを締め、リボンのひもがゆるくならないように着用する。

特に面接試験等の機会がある3年生に関しては、普段の身だしなみから整えることが重要です。また、来年度以降にも1,2年生はその機会を迎えます。面接のみならず、普段の皆さんを知らない外部の方々は見たい目（身だしなみ）の第1印象で善し悪しを判断されます。その場での付け焼き刃にならぬように心がけてください。

○9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」です

秋の全国交通安全運動が9月21日から実施されています。今年のスローガンは「あおらない 優しい気持ちで 走る秋」だそうです。自動車だけでなく、ゆとりを持って登下校を含めた交通安全に努めましょう。以下は運動の重点です。

- (1)子供を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保～横断歩道での歩行者優先(新潟県重点)～
- (2)高齢運転者等の安全運転の励行
- (3)夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転の防止

当たり前の安全・安心は当たり前の行動を徹底して実行できるかどうかです。交通ルールに関してはほとんど人が知っていることです。後はそれを守る意識を常に当たり前に…。



○ “いじめ” について理解を深める～「シンキング・エラー」と「アンバランス・パワー」

昨年度も掲載した内容ですが、改めて読み直すことで、更に理解を深めましょう！

いじめる側は多くの場合、加害行為を正当化します。その理由は「相手が悪いから」や「遊びだから」などです。問題は、それがいじめを追及されたときの言い逃れではあるけれど、自身の加害行為をある程度本気にそのように認識している点です。いじめが悪いと知っていながら自身の行為をいじめだと認識しない、いじめ加害の注目したい現実です。気付かないうちに加害者になりうる、すなわち『誰でも加害者になりうる』が成立する理由だと思えます。和久田学（※）は子どもにも伝えたい“いじめ加害を考えるキーワード”として「シンキング・エラー」と「アンバランス・パワー」を提唱しています。シンキング・エラーは、いじめをしていてもいじめと気付けない、「あれは遊びだった」「これは注意、これくらいしないと」などと認識する、間違った考えのこと。アンバランス・パワーは「力の不均衡」。被害者からみれば相手の力は強く、やり返すことも、嫌だということもできないというアンバランスのこと。



加害者たちは、「相手が悪いのだから当然」などとシンキング・エラーで正当化し、傷付くことを安易にエスカレートさせます。そこに相手の気持ちを考え共感する余地がありません。和久田は断言します。「いじめ加害者の最も顕著な特徴は、『共感のなさに基づくシンキング・エラー』なのである。」納得です。重要なキーワードだと思えます。

アンバランス・パワーの話聞いた高校生が『いじり』についての議論で「相手に言い返せるうちは『いじり』でとるが、アンバランス・パワーが生じて言い返せなくなれば『深刻ないじめ』に変わる」という意見が生まれた例があるそうです。

※ 和久田学「学校を変える いじめの科学」日本評論社（2019）

○ 高校生の悩みや不安とその対処方法～文部科学省 HP～

人から好かれたい、成績を良くしたい、といった何とかうまくやっいていこうとする気持ちがあることも、私たちがストレスを感じる原因に関係しています。人が生きていく上で、ストレスを感じることは自然なことであり、また、適度なストレスは心の成長に必要なものです。過度のストレスは心身に好ましくない影響をもたらすことから、自分なりのストレスへの対処法を身に付けることが心の健康のために大切です。

ストレスの原因を除去する

- 自分自身がいくら努力しても解決できない問題もあります。例えば、よい人間関係がつかれない場合は、しばらく離れてみるのも一つです。
- 大きすぎる課題や役割（責任がもてないもの）は引き受けないこともよいでしょう。

ストレスの原因となっている問題のとらえ方を変える

- 試験、対外試合、発表会、就職の面接などにストレスを感じる人は多いでしょう。しかし、避けることが難しいものもあります。努力や工夫の仕方、考え方を変えるなどして取り組むことが大切です。

身近な人や専門家に相談する

- 自分一人で不安や悩みを抱え込まずに身近な誰かに相談してみよう。あなたの周囲にいる家族や先生、友達は、あなたからの相談を待っているかもしれませんよ。
- 家族や先生以外にもスクールカウンセラー（心の専門家）に相談することもできます。皆さんの相談相手になってくれます。

コミュニケーションやリラックスする方法などを身に付ける

- 友人との上手なコミュニケーションを心がけましょう。
- 音楽を聞いたり、体を動かしたりといった趣味をもつなど、リラックスする方法を身に付けよう。

新潟県立三条東高等学校 生徒指導部 係：坂爪
TEL 0256 (38) 6461



学校ホームページ QR コード
以前の生徒指導通信も掲載されています